

Princeton

USB2.0 テレビキャプチャユニット

デジ造 PCA-MTV

Digital Creation Gear Digizo

活用ガイド

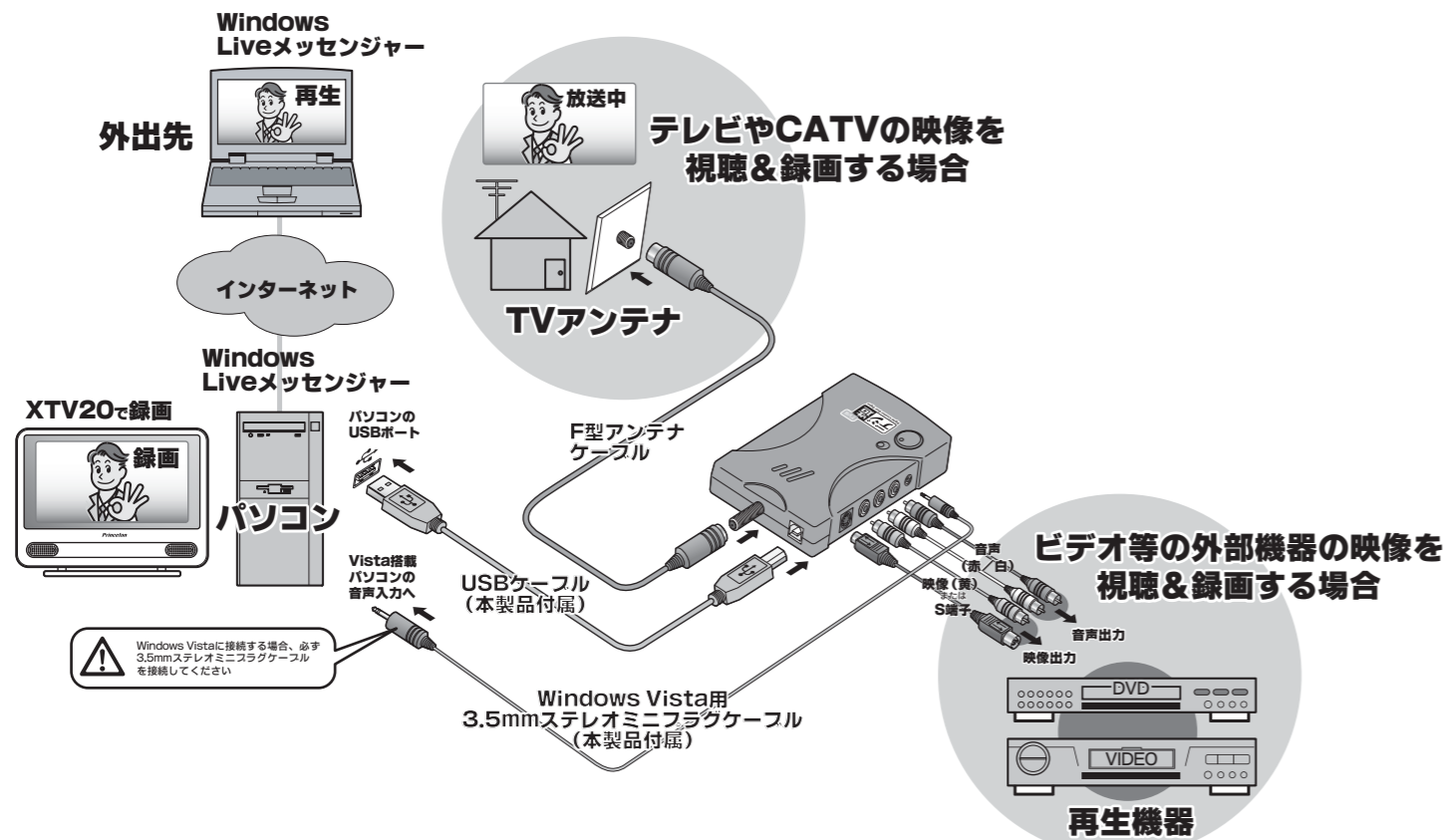
本書では、TVの視聴やビデオ録画、遠隔視聴方法などについて紹介します。

本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってドライバのインストールおよびソフトウェアのインストールを行ってください。

また、Windows Live Messengerに関する詳しい使用方法については、Windows Live Messengerのホームページを参照してください。

機器の接続



使用上のご注意

本製品を使用されたことによる、いかなる損害に対しても、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本製品を使用する前の準備

本製品を使用したTV映像の遠隔視聴については、「Windows Live ID」(映像送信用と受信用の計2つのID)の取得、およびTV映像の映像送信側と視聴側のパソコンに「Windows Live Messenger」のインストールが必要です。IDの取得方法やWindows Live Messengerに関する詳細は、Windows Live Messengerのホームページを参照してください。

ご利用の環境に合わせて、別途映像ケーブルやアンテナケーブルをご用意ください。

Windows Vistaでご利用の場合は、必ず本製品付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルを接続してください。

映像著作権上のご注意

テレビ、ラジオ、音楽等の映像や画像および音声などの、視聴や録画および録画した映像の視聴は、お客様個人で楽しめる用途以外には使用しないでください。個人で楽しめる以外の用途での使用は、著作権法上認められておりません。

セキュリティに関するご注意

遠隔地からの映像視聴等で本製品を使用される場合、第三者からのアクセスには十分ご注意ください。

テレビを視聴する

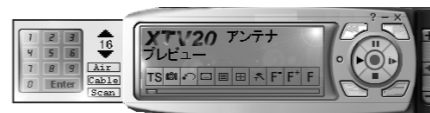
スタートメニューまたはデスクトップのアイコンからXTV20を起動します。



正しく接続されている場合、チャンネルボタンを押すとテレビ映像が画面に表示されます。



ビデオソースボタンを押すと、接続している外部映像機器の映像に切替えることができます。



チャンネルボタン
チャンネルを変更します。

- Air** 地上波放送を受信します。
- Cable** ケーブルテレビを受信します。
- Scan** 受信している地域に応じて、自動的に受信可能なチャンネルを登録します。
※スキャンには数秒かかります。
※Windows Vistaでは、初めてScanした後、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

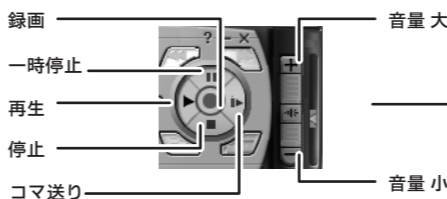


タイムバー
プレビューやタイムシフト中にドラッグすると任意の場面を表示することができます。

TS タイムシフト
現在視聴中の映像を、[タイムシフト]ボタンを押した直後に[再生]ボタンを押すと、[タイムシフト]ボタンを押した直後から録画しながら観ることができます。タイムシフトを終了する場合は、[停止]ボタンを押します。録画データの設定は裏面を参照してください。

- スナップショット**
視聴中の映像の静止画像をキャプチャします。
- 最後に選んだチャンネル**
直前に視聴していたチャンネルを表示します。
- ビデオソース**
[TVチューナー] [コンポジットビデオ] [S-Video]から、接続機器に合わせて、視聴するソースを選択します。
- スケジュール録画**
あらかじめ設定した時間に録画することができます。
- チャンネルプレビュー**
受信可能な映像のプレビューを一覧表示します。
- オプション**
XTV20の設定をします。
- F- お気に入りの消去**
現在表示中のお気に入りチャンネルを削除します。
- F+ お気に入りの追加**
現在表示中のチャンネルをお気に入りに追加します。
- F お気に入りを表示**
ボタンを押すごとに、お気に入りに登録されているチャンネルを表示します。

下記のボタンで、視聴中のテレビ映像を録画したり、再生中の映像の操作を行うことができます。



外部映像機器を視聴する

スタートメニューまたはデスクトップのアイコンからXTV20を起動します。



ビデオソースボタンを押すと、接続している外部映像機器の映像に切替えることができます。

映像機器の再生を開始します。



映像を録画する

スタートメニューまたはデスクトップのアイコンからXTV20を起動します。



テレビまたはビデオなどを視聴できる状態にします。

[録画]ボタンを押すと、現在視聴している映像の録画を開始します。

録画を停止する場合は、[停止]ボタンを押します。



録画映像の保存場所

録画映像は、通常Cドライブの「XTV20」フォルダに、動画ファイルとして保存されています。デスクトップの「XTV20」アイコンをダブルクリックすると、保存場所を表示することができます。



録画設定について

XTV20の[オプション]では、本ソフトウェアに関する設定を行うことができます。

録画に関する設定は、[オプション]→[設定]タブまたは[エンコーダープロパティ]タブで行います。

初期設定では、『MPEG1』形式で録画されます。録画形式を変更する場合は、ファイルタイプやビデオサイズを変更します。設定は、録画データのファイルサイズが大きくなります。ハードディスクの容量にはご注意ください。あらかじめ最大録画時間を設定することも可能です。[オプション]→[設定]タブの「録画時間」に印を付けて、録画時間を設定してください。

録画した映像を再生する

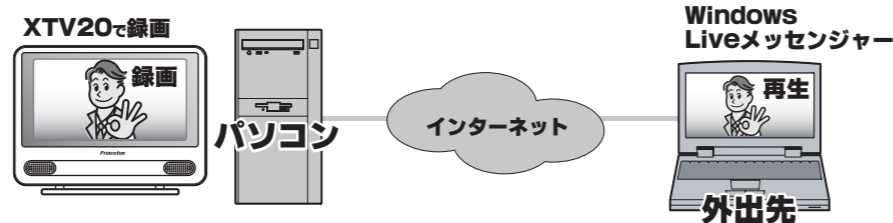
[再生]ボタンを押して、保存されている録画データを選択すると、映像を再生することができます。



裏面に進む

遠隔地でテレビを視聴する前に

外出先でも、Windows Live Messengerを使用してテレビを見ることができます。XTV20のスケジュール録画機能を使用すれば、ビデオを見ることもできます。



映像を送信するパソコンの準備

『Windows Live Messenger』を起動して、映像送信パソコン用に取得した『Windows Live ID』でサインインします。あらかじめ、映像受信用の『Windows Live ID』からの通話を受信できるように、メンバーとして追加します。

映像送信用のWindows Live Messengerと、受信用のWindows Live Messengerは必ず異なるWindows Live IDでサインインしてください。Windows Live Messengerのヘルプを参照してください。

『Windows Live Messenger』を一度終了します。

XTV20を起動して、[SCAN] ボタンを押して必ず『SCAN』を行ってください。

XTV20で『SCAN』されていない場合、テレビ映像を正しく送信することができません。

『SCAN』が完了したら、XTV20を終了します。

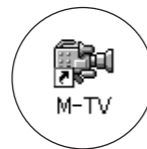
XTV20が起動している状態では、テレビ映像を正しく送信することができません。

■Windows Vistaの場合

Windows Vistaで初めてScanを行った後、XTV20を終了すると、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。画面が表示されたら、[続行]をクリックしてください。



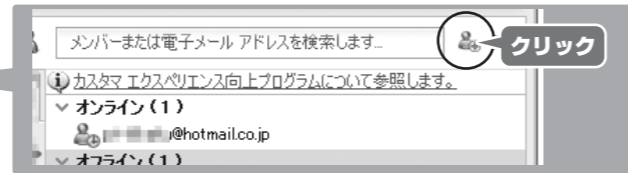
『M-TV』を起動します。起動している場合、タスクバーにアイコンが表示されます。起動していない場合は、デスクトップのアイコンまたはスタートメニューから起動してください。



『Windows Live Messenger』を起動して、映像送信パソコン用に取得した『Windows Live ID』でサインインします。

映像送信用のWindows Live Messengerと、受信用のWindows Live Messengerは必ず異なるWindows Live IDでサインインしてください。

画面上部のアドレスをクリックして表示されるメニューから、『M-TVを有効にする』を選択して、チェックをつけます。



XTV20を起動します。



XTV20を終了して、M-TVを起動します。



以上で終了です。下記の状態で、遠隔地へ映像を送信することができます。

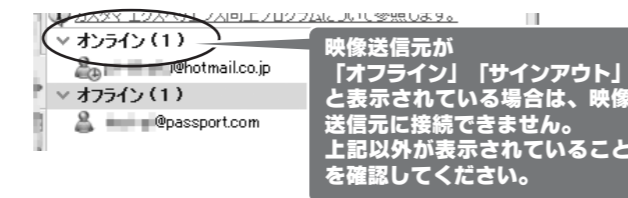


映像を受信するパソコンの準備

『Windows Live Messenger』を起動して、映像受信パソコン用に取得した『Windows Live ID』でサインインします。あらかじめ、映像送信用の『Windows Live ID』に通話を送信できるように、メンバーとして追加します。

映像送信用のWindows Live Messengerと、受信用のWindows Live Messengerは必ず異なるWindows Live IDでサインインしてください。

以上で終了です。



遠隔地でテレビを視聴する

送信用の『Windows Live Messenger』に登録されているメンバーから、受信用の『Windows Live ID』に下記のメッセージを送信します。

送信メッセージ
「tv」
(大文字でも小文字でも可)



送信用の『Windows Live ID』からの映像受信要求の招待を承諾します。



次に、音声受信要求の招待も承諾します。(応答します)

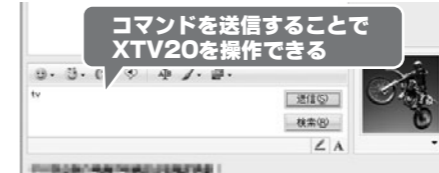


映像を受信することができます。



遠隔地からXTV20を操作する

受信用の『Windows Live ID』に、あらかじめ決められているコマンドを送信することで、XTV20を操作することができます。



tv	テレビ映像の受信開始／受信終了
ch[x]	テレビチャンネルを指定して変更(例: ch8)
chu	テレビチャンネル アップ
chd	テレビチャンネル ダウン
switch TV	デジ造の出力をテレビに変更
switch AV	デジ造の出力をコンポジット(RCA)に変更
switch SV	デジ造の出力をS端子に変更
power off	デジ造に接続されたパソコンの電源OFFにする

※大文字小文字どちらで入力しても認識します。
※半角スペースがある場合、必ず入力してください。

視聴を終了する場合

受信用の『Windows Live ID』に下記のメッセージを送信します。

送信メッセージ
「tv」
(大文字でも小文字でも可)



視聴を終了する場合は、必ず「TV」コマンドを送信して、映像の受信を終了してください。Windows Live Messengerの映像受信を終了したり、通話を終了しても、XTV20の映像は終了されません。

便利な使い方

スナップショット

視聴中の映像の静止画像をキャプチャします。



キャプチャした画像の上で右クリックして、保存します。

録画映像は、通常CDドライブの『XTV20Cap』フォルダの『Temporary』に保存されています。デスクトップの『XTV20Cap』アイコンをダブルクリックすると、保存場所を表示することができます。

スケジュール録画

あらかじめ設定した時間に録画することができます。



日時やチャンネルを設定して、[保存]を押すと予約完了です。

スケジュール録画を行う場合は、必ず録画時間にパソコンを起動しておいてください。

スケジュール録画が終了したらコンピュータをシャットダウンさせる。録画終了後にパソコンの電源がOFFになります。設定の際はご注意ください。

チャンネルレビュー

受信可能な映像のプレビューを一覧表示します。見たい画面をダブルクリックすると、選択したチャンネルを表示します。



プレビュー画面の設定は、XTV20の[オプション]→[設定]タブで行います。プレビュー画面の数やプレビュー時間を設定できます。

困った時は？

- ？ ドライバを再インストールする場合**
一度ドライバのインストールを行った後、何らかの理由で再度ドライバの設定が必要な場合、『Program Files\USB TV\Driver\32』にある『dpinst32.exe』を実行してください。
- ？ チューナーの受信設定や画像の調整を行う場合**
チューナーの設定は、XTV20の[オプション]→[TVチューナ]タブで行います。映像の画質調整は、XTV20の[オプション]→[カラー]タブで行います。
- ？ タイムシフト時の録画データは？**
初期設定では、タイムシフト時のデータはタイムシフト終了時に削除されます。保存したい場合は、XTV20の[オプション]→[設定]タブのタイムシフトオプションに印を付けてください。
- ？ 映像または音声の承諾が遅れてキャンセルされてしまった場合**
承諾が遅れてキャンセルされた場合以外の受信要求もキャンセルして、再度「tv」コマンドを入力してください。